



お仕置き

- ✎ Adelheid Marie Bwire
- 👤 Melany Pietersen
- 🗨️ Noriko Shibata
- 💬 japonés
- 📊 nivel 2

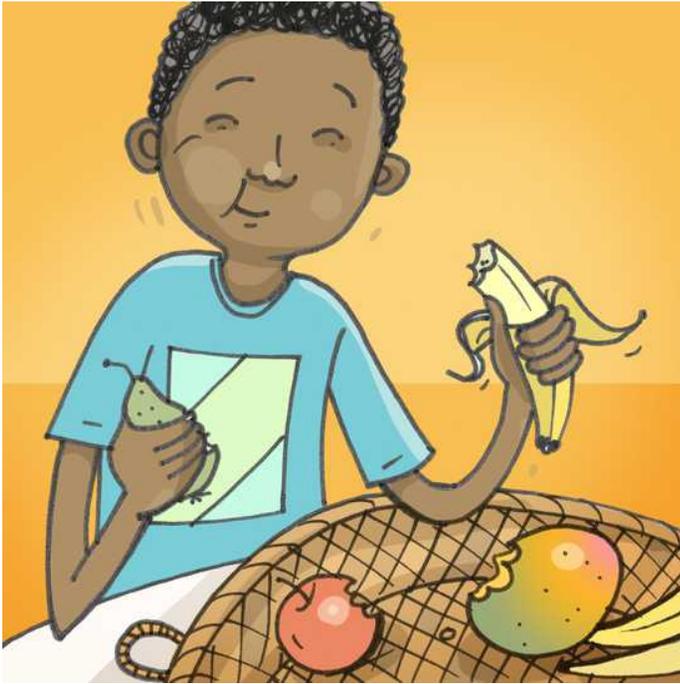




ある日、お母さんは、果物をたくさん手に入れました。



「私たち、いつ果物を食べられるの? 」と尋ねると、お母さんは「今夜にでも食べましょう」と言いました。



お兄ちゃんのラヒームは、食いしんぼう。全ての果物を味見して、たくさん食べてしまいます。



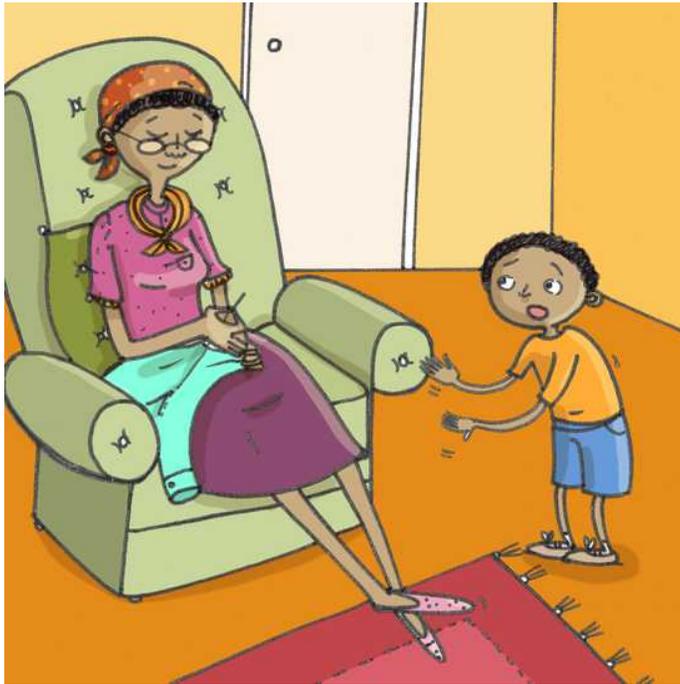
「ほら見て、ラヒームったら！」弟が叫んでいます。「ラヒームはお行儀が悪くて、わがままなのよ」と私は言いました。



お母さんは、ラヒームのことを怒っています。



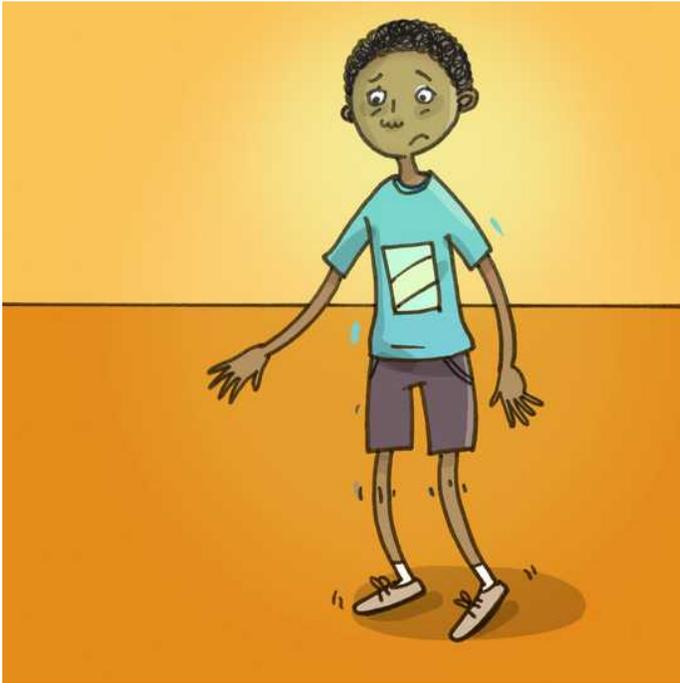
私たちもラヒームに腹を立てています。でも、ラヒームは自分のしたことを悪いと思っていません。



「ラヒームにお仕置きをしないの？」 弟は、お母さんに尋ねました。



「ラヒーム、もうすぐ自分のしたことを後悔するわよ」とお母さんは、言い聞かせました。



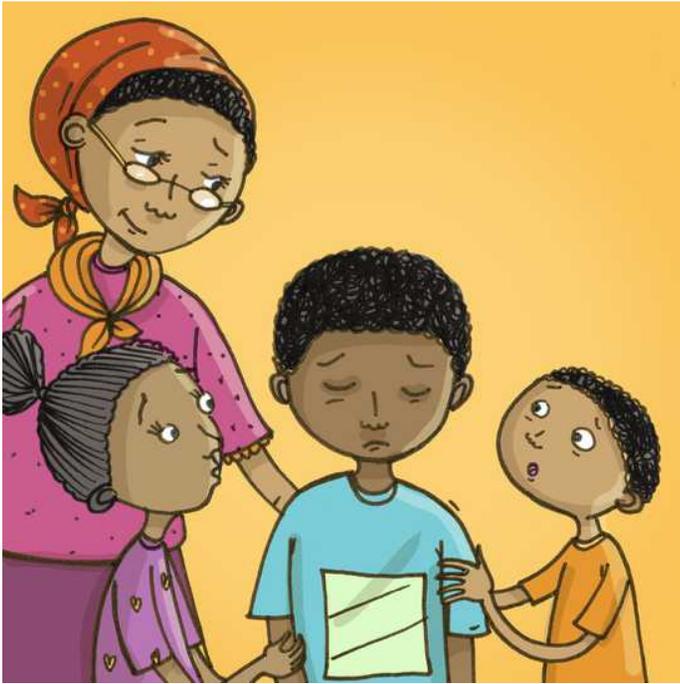
ラヒームは、気持ちが悪くなり始めます。



「おなかがとても痛いよ」と小さな声でささやきました。



お母さんは、こうなることがわかっていました。果物は、ラヒームにお仕置きをしているのです！



その後、ラヒームはみんなに謝りました。「僕はもう二度と欲張ったりしないよ」と約束し、みんなもラヒームを信じることにしました。



Cuentos para México

global-asp.github.io/storybooks-mexico

お仕置き

Texto: Adelheid Marie Bwire

Ilustraciones: Melany Pietersen

Traducción: Noriko Shibata

Este cuento se origina en el African Storybook (africanstorybook.org) y es presentada por Cuentos para México, que ofrece libros para niños en muchos idiomas que se hablan en México.

Esta obra está bajo una Licencia Creative Commons
[Atribución 3.0 Internacional](https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/).